

11ぴきのねことあほうどり

大人気11ぴきのねこシリーズ
第3弾!!

原作/馬場のぼる (こくま社刊)

脚色/松本則子 演出/藤田光平 人形美術/永島梨枝子 舞台美術/西島加寿子
音楽/一ノ瀬季生 照明/永山康英 舞台監督/奥洞昇 制作/松澤美保 写真/田嶋哲

あらすじ

ニャゴ、ニャゴ、ニャゴ、ニャゴ、ニャーゴ!

11ぴきのねこは、みんなのらねこ。そして、いつもはらぺこ。

ある日、11ぴきのねこは広いジャガイモ畑を見つけます。みんないっせいにジャガイモにかじりつきますが、そのままではまずくて食べられません。「ジャガイモといえばコロッケだ!」

そこで、みんなでコロッケを作ることにしました。ジャガイモをあらって、ゆでて、つぶして、パンこをつけてあぶらであげると、コロッケができました。

「こんなにおいしいコロッケ、われわれだけで食べてはもったいない!」

11ぴきのねこは、コロッケ屋をはじめます。お客さんが次々とやって来て、お店は大はんじょう。でも、夕方になるとお客さんはぱったり来なくなり、残ったコロッケを自分たちで食べることに。

「もう、コロッケはいりません!」「鳥の丸焼きが食べたいねえ〜。」と、

そこへ、1羽の旅のあほうどりがコロッケを買いにやってきました。

「こんなにすてきなコロッケを兄弟たちにも食べさせてやりたい。」

島には10羽の兄弟が待っているの、コロッケを作りに来て欲しいと言います。

11羽のあほうどりを丸焼きにして食べてしまおうと考えた11ぴきのねこは、気球に乗って、あほうどりの島へと向かいます。しかし、そこで待っていたのは……。



演出にあたって

藤田光平

馬場のぼるさんの絵本のページいっぴいに描かれた、個性豊かにコロッケを作っている11ぴきのねこたち。子どもたちは、「このネコはこうで…このネコは…」と、絵本の隅から隅までいっぴきいっぴき指さします。まるで、自分が「11ぴき」であるかのように。人形劇「11ぴきのねことあほうどり」では、客席の子どもたち一人一人が、「11ぴき」となかまになり、舞台いっぴい跳ね回っているような一体感を感じてもらいたいと思っています。

11ぴきのねこたちのエネルギーの源は、「食べること」です。赤ちゃんが夢中にオッパイを飲む姿や、飲み終えた後のあの至福の表情! また人は、食べることを通じて、様々なことを経験し〜もちろん失敗もあります〜、感じ、学んでいきます。そんな11ぴきのねこたちの生き生きとした姿をお届けしたいと思っています。



〈11ぴきのねこシリーズ 公演スケジュール〉

11ぴきのねことあほうどり

2011年
12月18日(日) 開演PM 1:30 大阪府立労働センター

11ぴきのねことぶた

2011年
12月23日(金・祝) 開演PM 1:30 堺市立梅文化会館
2012年
1月4日(水) 開演PM 1:30 吹田市文化会館メイシアター
1月7日(土) 開演AM11:00/PM2:00 新神戸オリエンタル劇場
1月9日(月・祝) 開演AM 10:30 大阪府立子ども文化センター
1月15日(日) 開演PM 1:30 岸和田市立文化会館(マドカホール)
1月21日(土) 開演PM 2:00 びわ湖ホール
1月22日(日) 開演PM 1:30 豊中市立ローズ文化ホール

11ぴきのねこふくろのなか

2012年
2月26日(日) 開演PM 2:00 なら100年会館